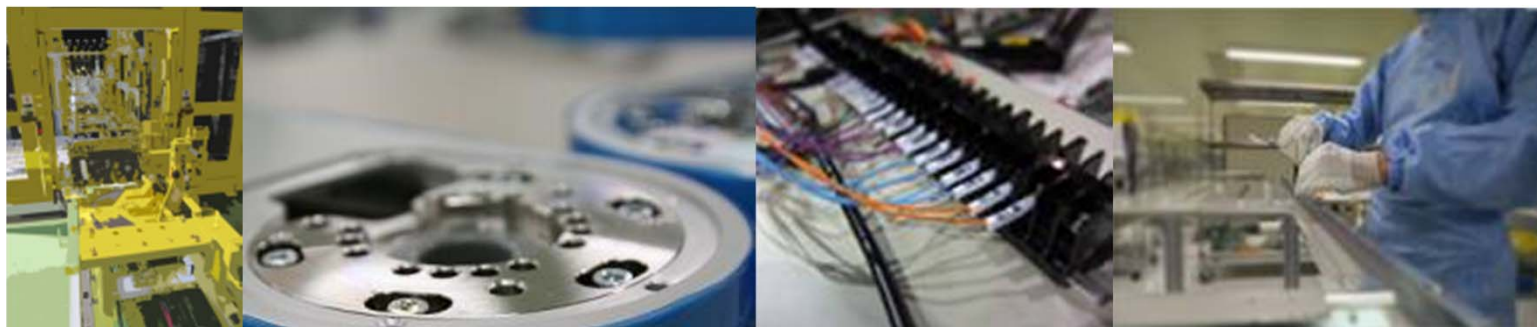


---

# 2012年3月期 第3四半期 決算説明資料

---

平田機工株式会社 2012.02.10



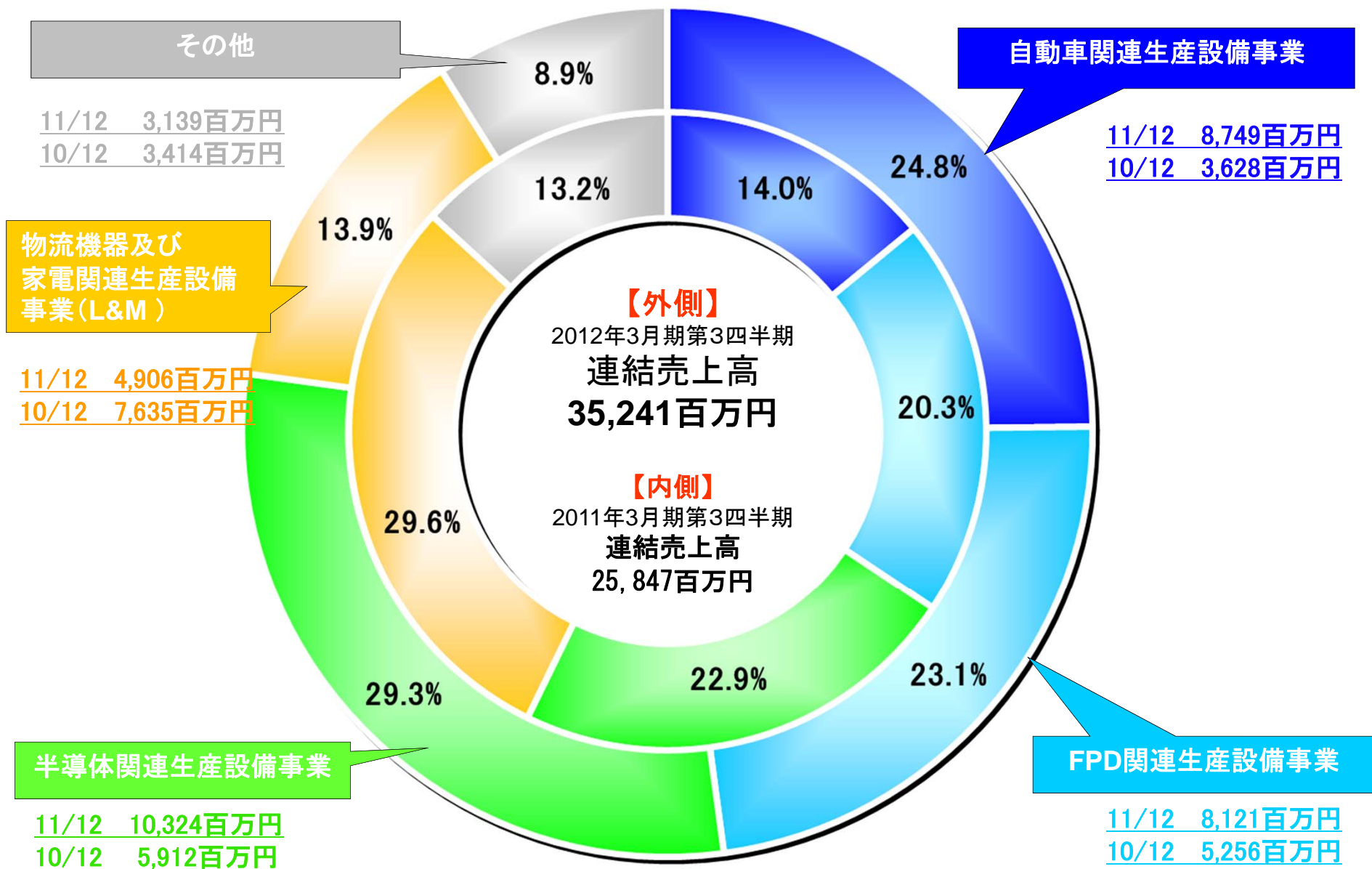
---

# I 決算状況

---

2012年3月期 第3四半期（2011年12月31日）

# I 決算状況 事業部門別売上高構成比



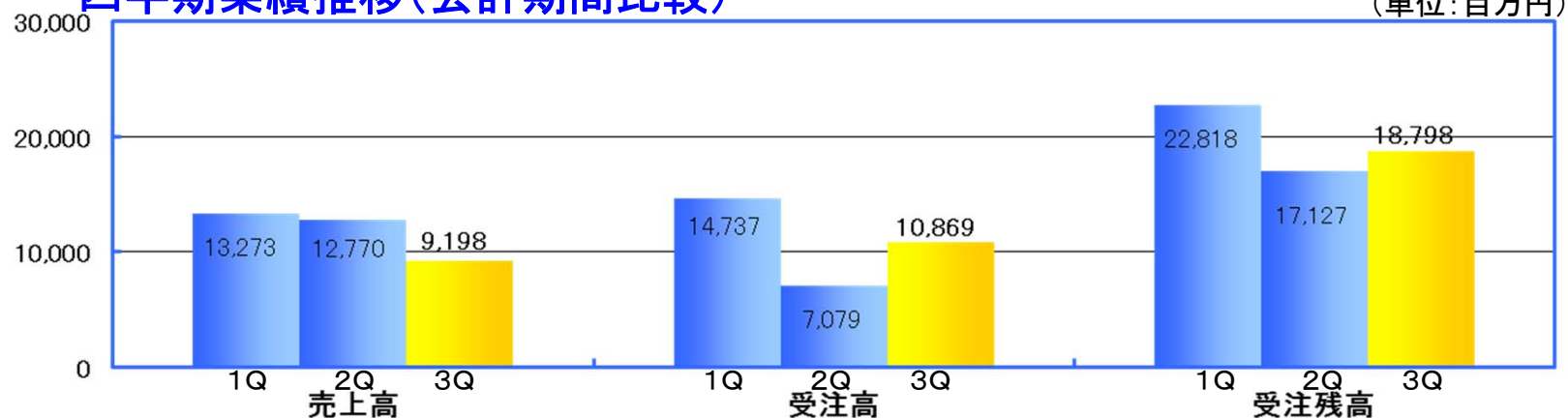
# I 決算状況 決算概要

## 決算概要

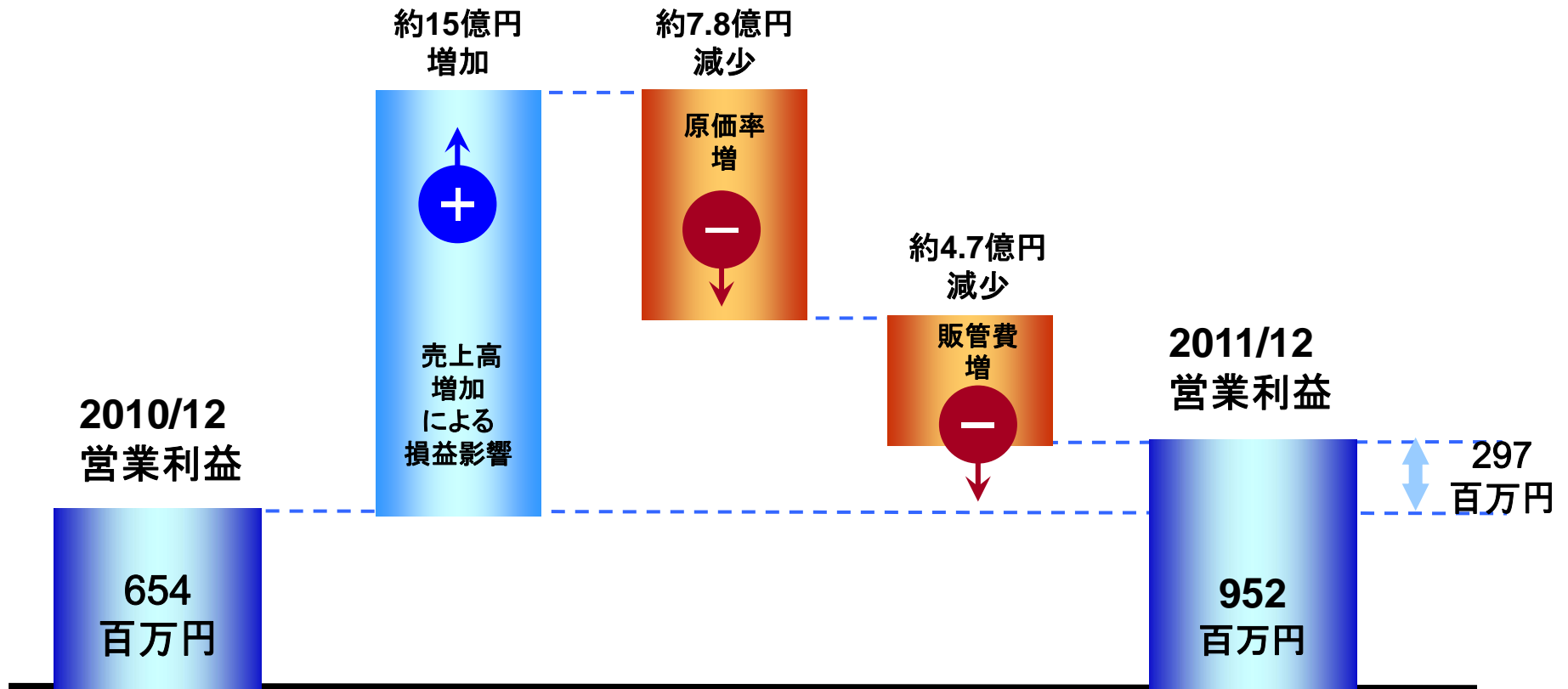
- 売上高は、自動車関連、FPD関連および半導体関連が堅調に推移し、対前年同期比増収。
  - 営業利益、経常利益は増収に伴い、増加。  
四半期純利益は実行税率の低下により、繰延税金資産の計上額が減少したことなどから減少。
  - 受注高、受注残高は、対前年同期比で減少したが、前会計期間比では増加。
- (単位:百万円)

連結決算	2011年3月期		2012年3月期		対前年 同期比増減率
	第3四半期	累計業績	第3四半期	累計業績	
売上高		25,847		35,241	+36.3%
営業利益		654		952	+45.5%
経常利益		568		1,007	+77.3%
四半期純利益		463		218	△52.9%
受注高		38,194		32,686	△14.4%
受注残高		26,864		18,798	△30.0%

### 四半期業績推移(会計期間比較)



# I 決算状況 営業利益の増減要因分析



# I 決算状況 事業部門別実績 連結売上高

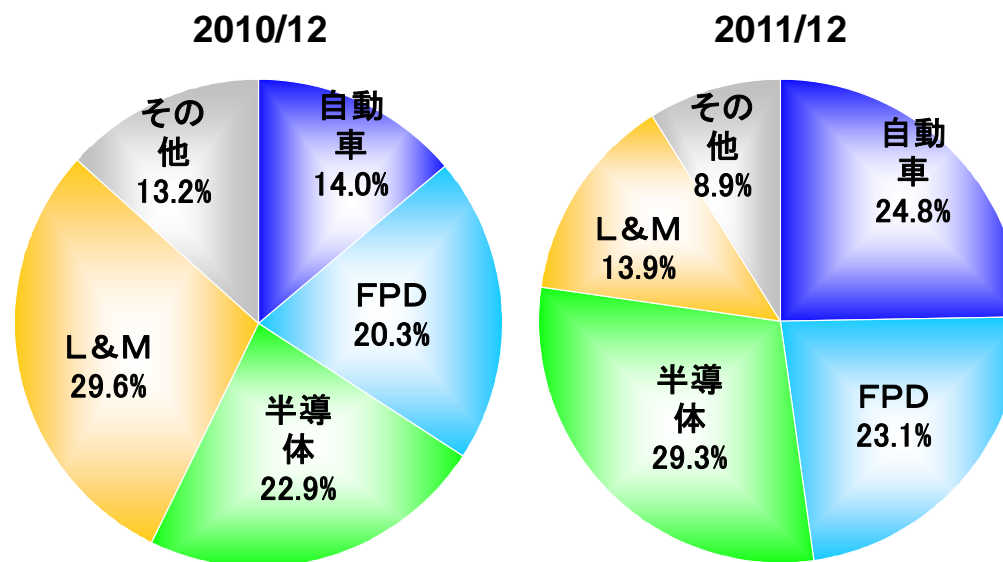
## ■ L&M関連は減収となったが、自動車関連、FPD関連、半導体関連は大幅に増収。

- ・ 自動車関連設備は、北米メーカー向けの大型案件、国内向け自動車部品関連の案件等の売上により大幅増収(+141.1%)
- ・ FPD関連設備は、国内、中国などの液晶メーカー向けの売上増により増収(+54.5%)
- ・ 半導体関連設備は、大型の製造受託案件の売上等により増収(+74.6%)
- ・ L&M関連設備は、タイヤ関連の売上が減ったことなどから減収(△35.7%)

## 事業部門別売上高の状況

単位:百万円

事業部門	2010/12	2011/12	対前年同期比 増減率
自動車	3,628	8,749	+141.1%
FPD	5,256	8,121	+54.5%
半導体	5,912	10,324	+74.6%
L&M	7,635	4,906	△35.7%
その他	3,414	3,139	△8.1%
合計	25,847	35,241	+36.3%



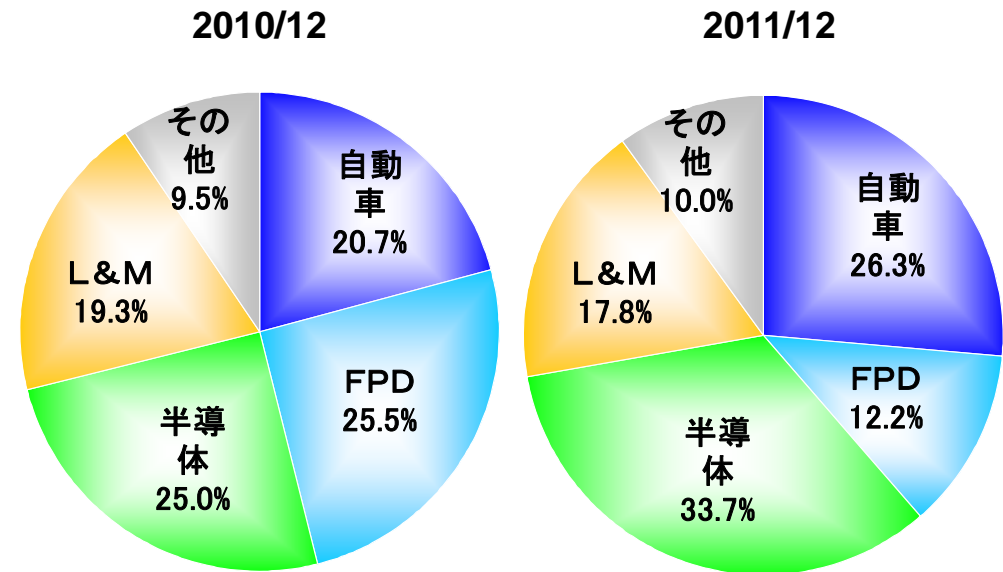
# I 決算状況 事業部門別実績 連結受注高

## ■ 自動車関連、半導体関連が増加したが、FPD関連、L&M関連が減少し、全体では減少。

- ・ 自動車関連設備は、北米メーカー向けの大型案件およびアジア向け案件などにより増加(+8.8%)
- ・ FPD関連設備は、国内および中国メーカーからの受注減少により減少(△59.1%)
- ・ 半導体関連設備は、大型の製造受託案件の受注が続き増加(+15.6%)
- ・ L&M関連設備は、北米の半導体関連企業からの受注が堅調であったものの、前期比では減少(△21.3%)

## 事業部門別受注高の状況 単位:百万円

事業部門	2010/12	2011/12	対前年同期比 増減率
自動車	7,905	8,604	+8.8%
FPD	9,743	3,983	△59.1%
半導体	9,536	11,024	+15.6%
L&M	7,368	5,802	△21.3%
その他	3,640	3,271	△10.2%
合計	38,194	32,686	△14.4%

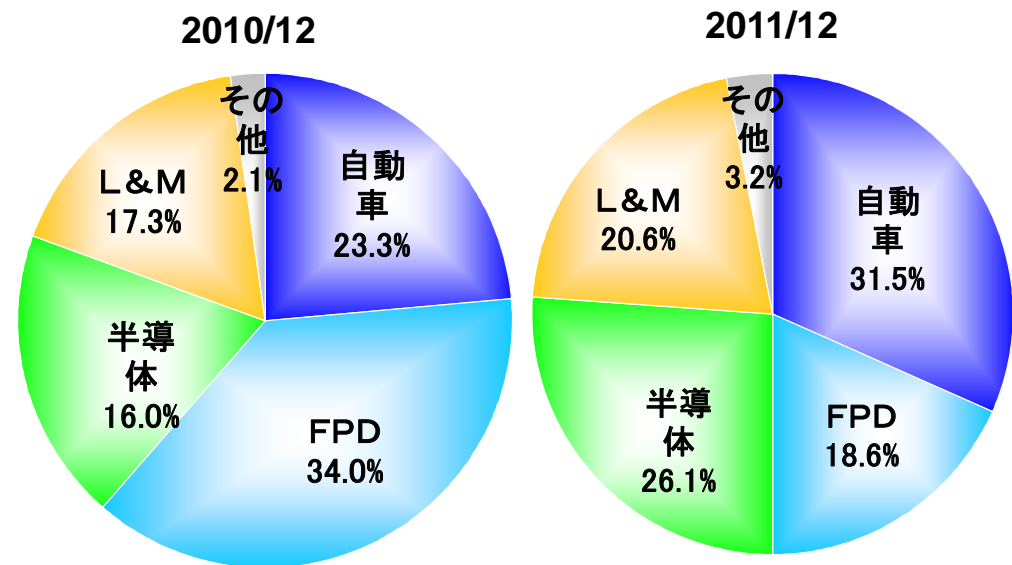


■国内メーカーが生産を縮小しているFPD関連を始め、各事業部門で減少。

事業部門別受注残高の状況

単位:百万円

事業部門	2010/12	2011/12	対前年同期比 増減率
自動車	6,361	5,931	△6.8%
FPD	10,122	3,491	△65.5%
半導体	5,165	4,903	△5.1%
L&M	4,653	3,873	△16.8%
その他	561	597	+6.4%
合計	26,864	18,798	△30.0%





---

## II 市場動向および 2012年3月期業績の見通し

---

## II 事業環境

---

全般的に市場の不透明感が続くが、自動車関連は、堅調な北米メーカーに加え、国内メーカーの回復も期待できる状況にある。

### 自動車関連事業

国内自動車市場は震災の影響等により低調に推移していたが、エコカー減税の延長およびエコカー補助金の復活などにより回復が期待される。北米市場では北米メーカーを中心に堅調を維持。中国市場もさらに拡大する模様。

### FPD関連事業

地上デジタル放送への全面移行により、国内テレビ市場は急激に縮小し、パネル基板の設備投資も低調。スマートフォン等モバイル機器は好調であり、タッチパネル等の需要増が期待される。

### 半導体関連事業

日米ともに半導体製造装置市場に回復の兆しもあるものの、DRAM価格は低水準で推移しており、本格回復局面には至っていない。しかし、スマートフォンの高機能化等に伴う半導体製品需要の向上も期待される。

### L&M関連事業

エアコン、洗濯機、冷蔵庫など家電関連は引き続き、新興国需要が増加するものと見込まれる。タイヤ関連は米国、中国などで需要増加が期待される。

### Ⅲ 市場動向および2012年3月期業績の見通し

### 業績予想

※業績予想に修正はありません。

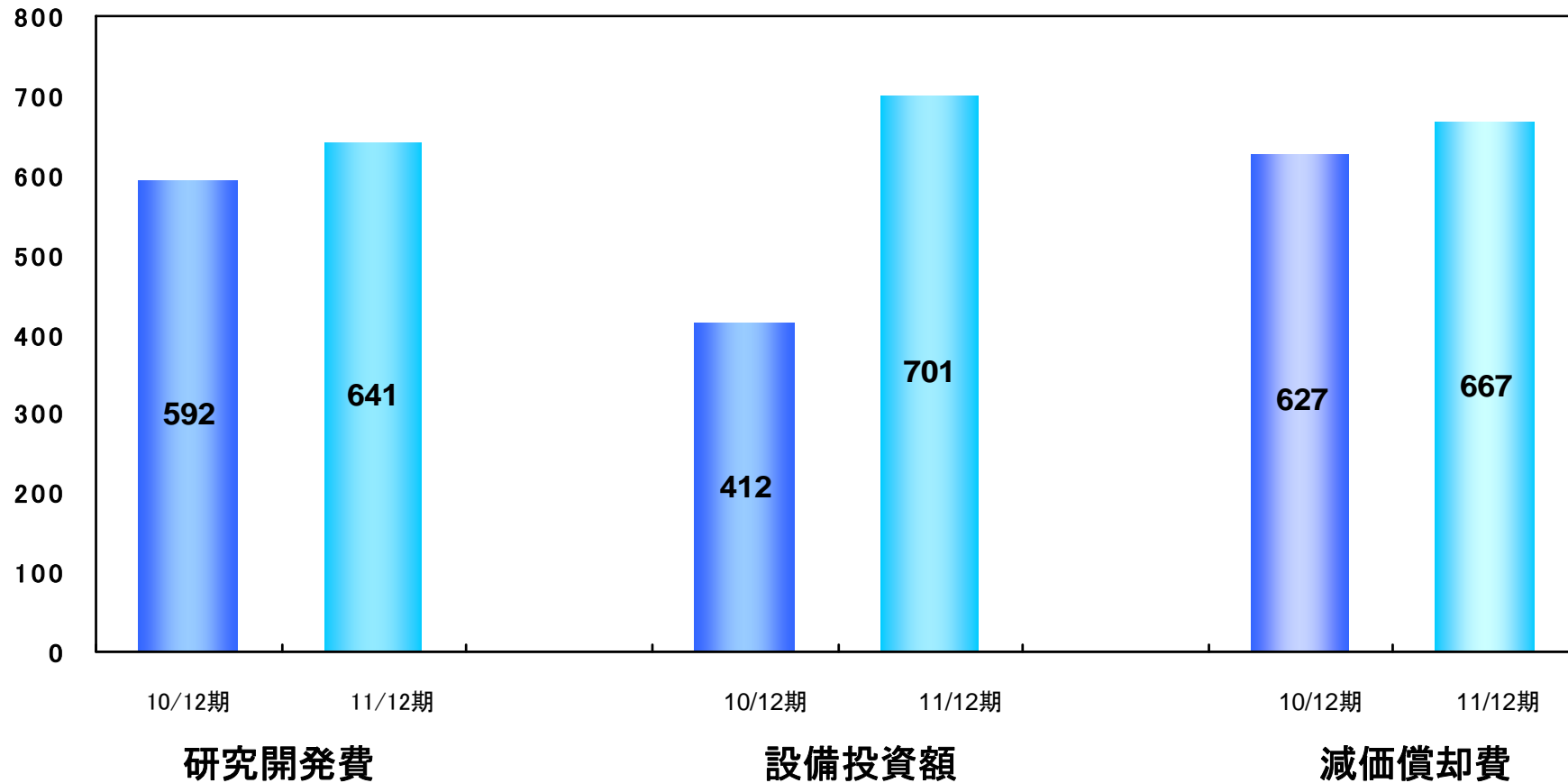
	2011年3月期 実績	2012年3月期				前期比 増減率
		上期	下期	通期		
売上高	44,142	26,043	23,956	50,000	+13.3%	
自動車関連	6,193	5,547	5,052	10,600	+71.1%	
FPD関連	9,299	6,217	5,882	12,100	+30.1%	
半導体関連	12,230	8,296	6,403	14,700	+20.2%	
L&M関連	11,626	3,845	4,354	8,200	△29.5%	
その他	4,792	2,136	2,263	4,400	△8.2%	
営業利益（率）	1,781 (4.0)	993 (3.8)	606 (2.5)	1,600 (3.2)	△10.2%	
経常利益（率）	1,554 (3.5)	945 (3.6)	454 (1.9)	1,400 (2.8)	△10.0%	
当期純利益（率）	941 (2.1)	391 (1.5)	408 (1.7)	800 (1.60)	△15.1%	

---

## IV 参考資料

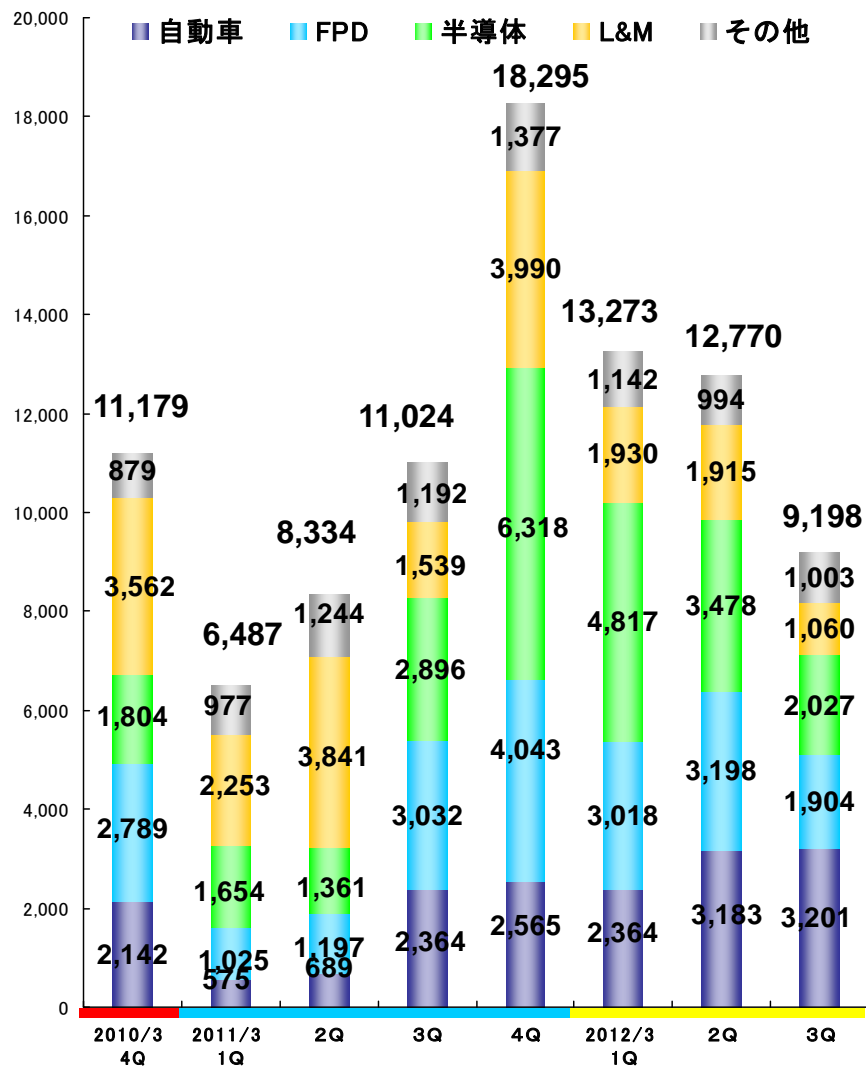
2012年3月期 第3四半期（2011年12月31日）

百万円

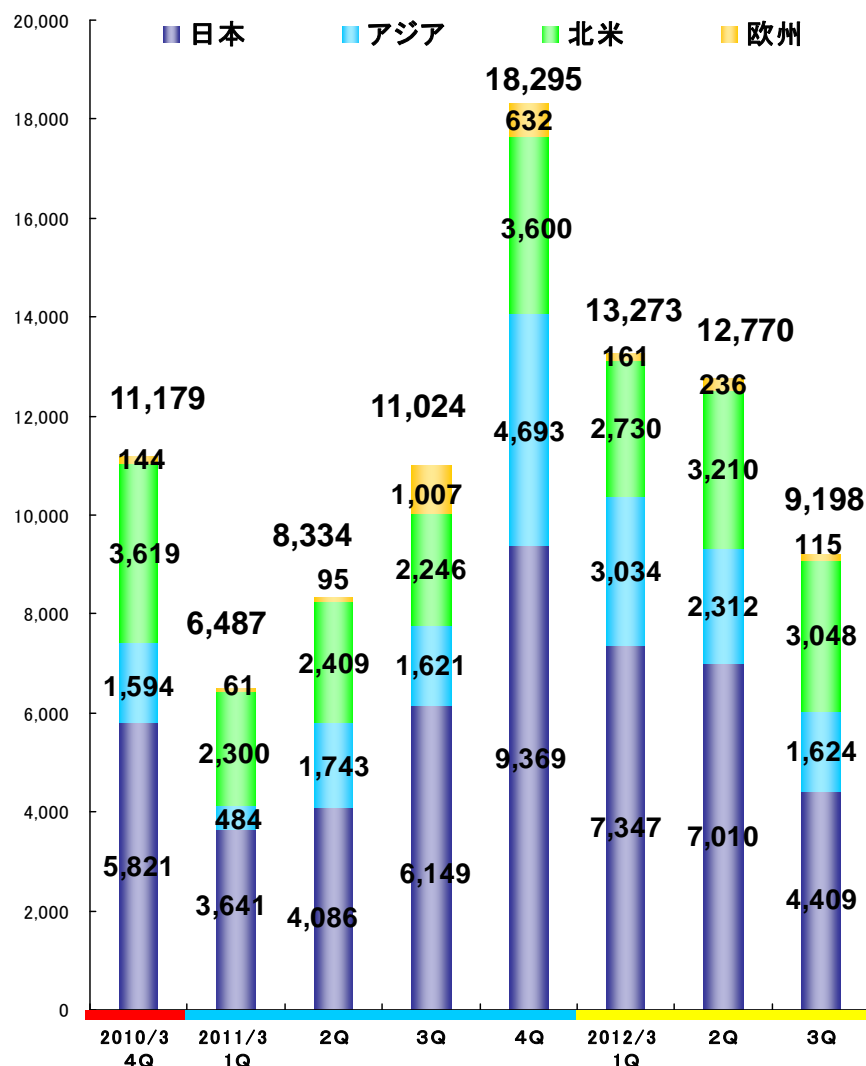


# IV 参考資料 事業部門別・地域別四半期推移(売上高)

## 事業部門別四半期売上高の推移

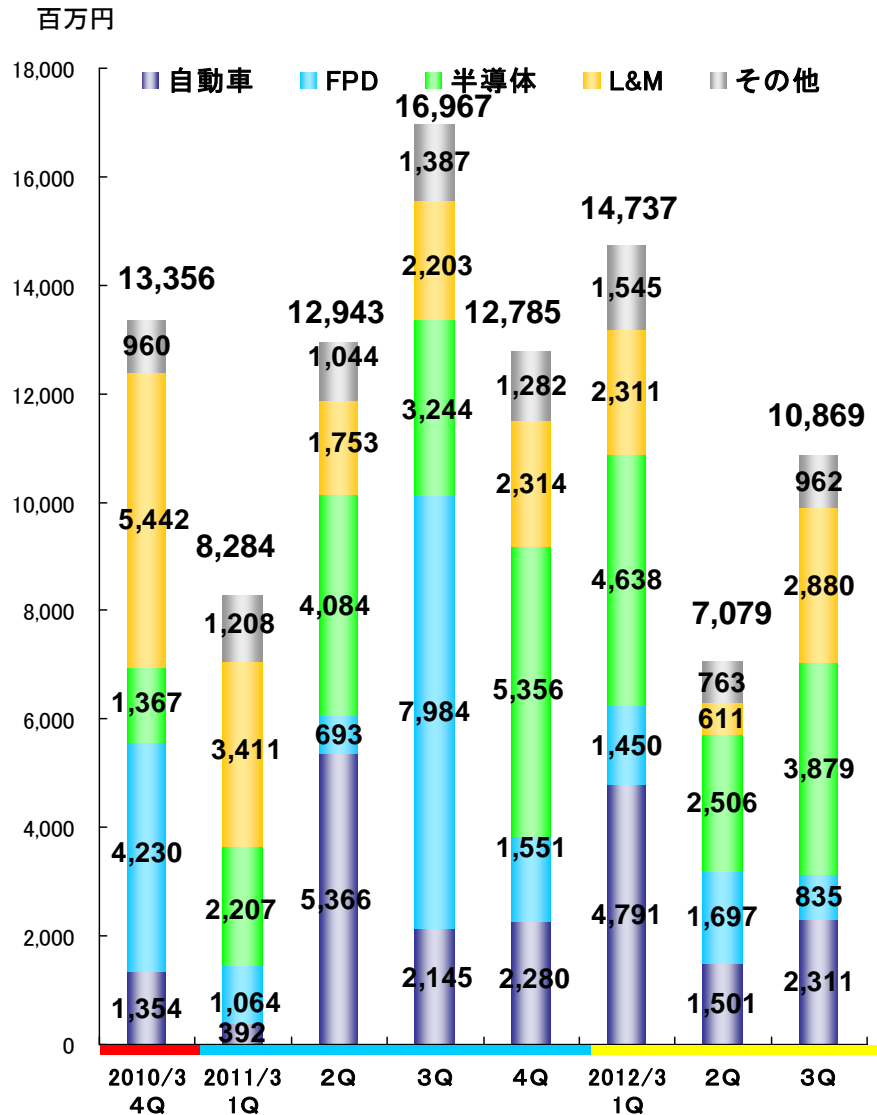


## 地域別四半期売上高の推移

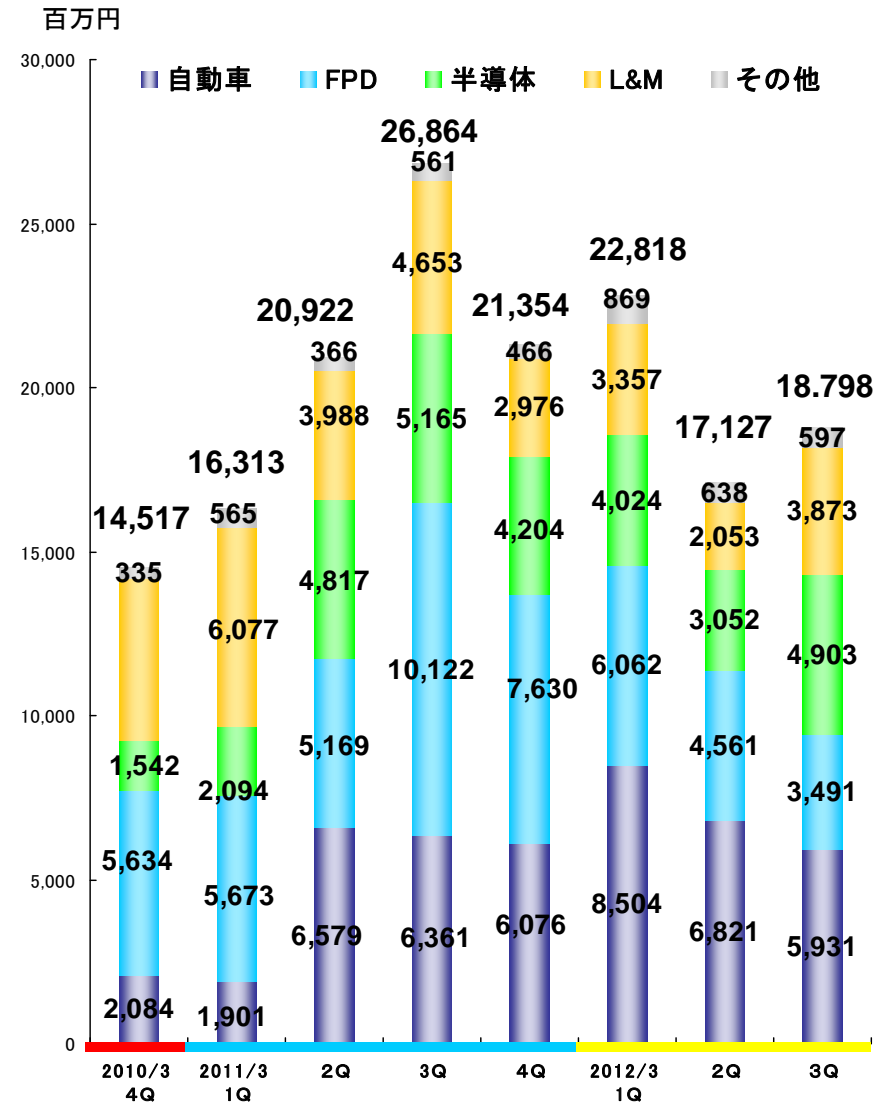


## IV 参考資料 事業部門別四半期推移(受注高・受注残高)

### 事業部門別四半期受注高の推移

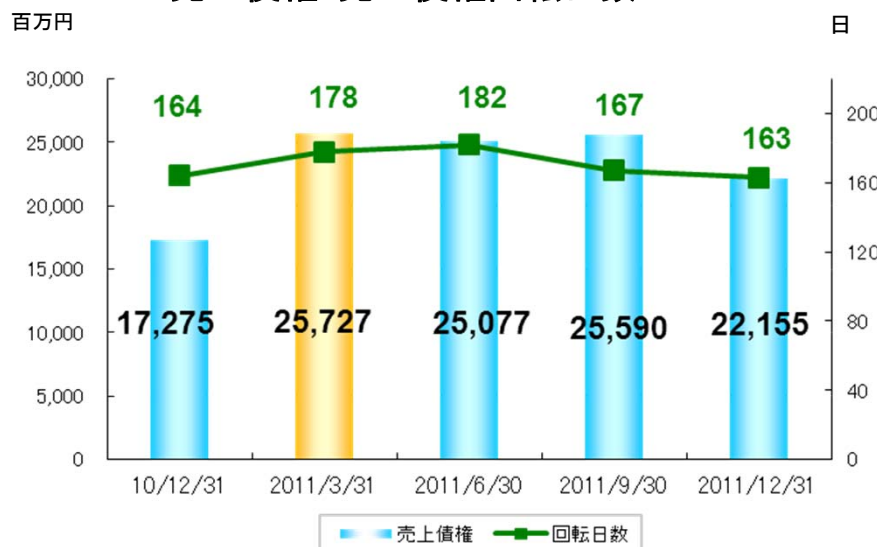


### 事業部門別四半期受注残高の推移

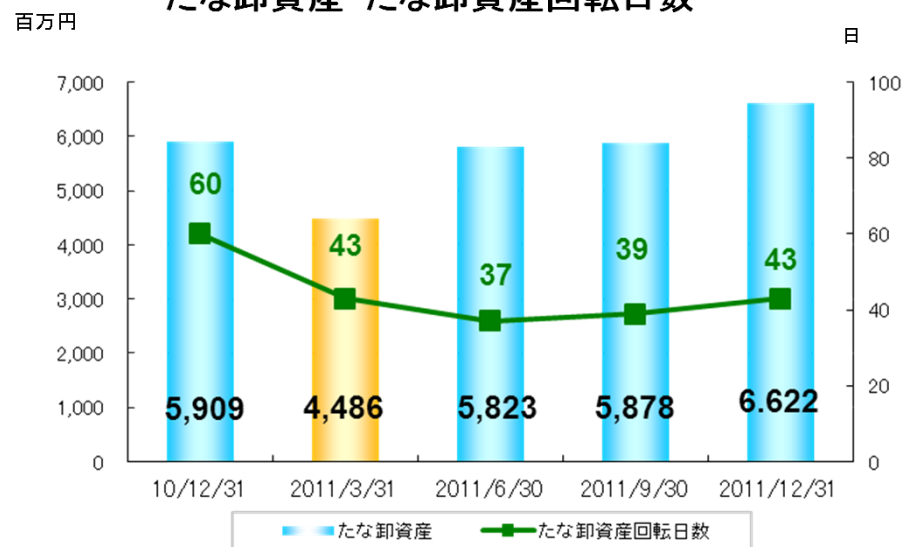


## IV 参考資料 主要指標

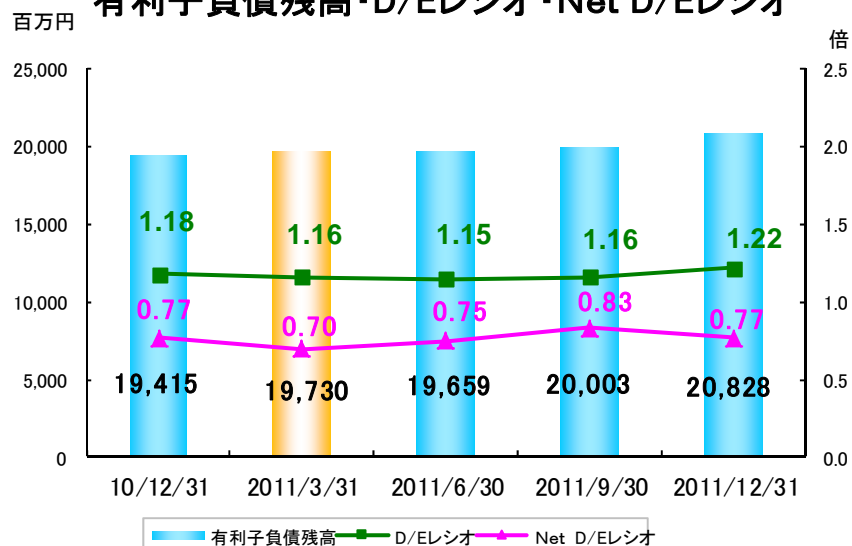
### 売上債権・売上債権回転日数



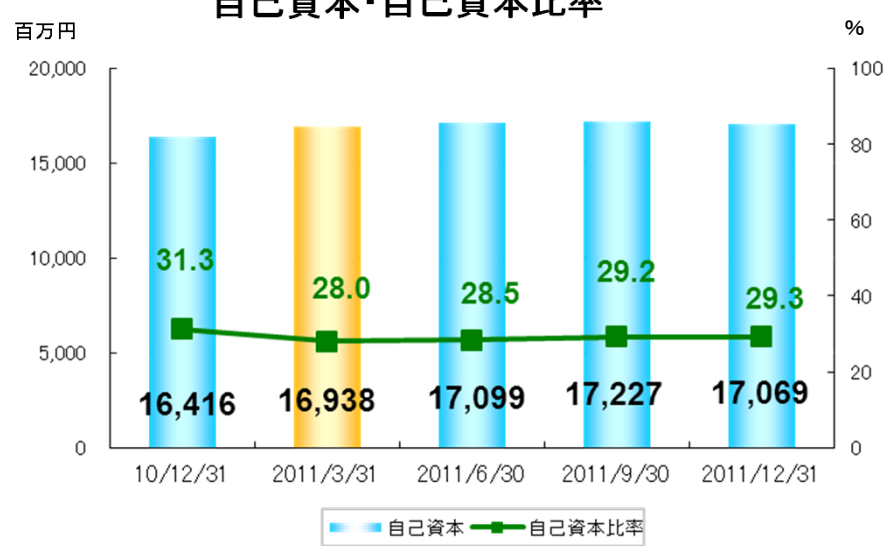
### たな卸資産・たな卸資産回転日数



### 有利子負債残高・D/Eレシオ・Net D/Eレシオ



### 自己資本・自己資本比率



注) 売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。



本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。